

[簡易専用水道検査]点検報告書

マンション名	バームハイツ西葛西		
点検会社名	一般財団法人東京顕微鏡院	MaCD	
担当者名	辻 澄夫		

課長	担当	マネージャー	点検者
		中平	辻

■点検結果(☒異常なし、 ☐異常あり)

HCM処理コード欄

所見			
前回所見	/ <input type="checkbox"/> 異常なし、 <input type="checkbox"/> 異常あり	対応状況	<input type="checkbox"/> 修理完了 <input type="checkbox"/> 修理完了予定[/] <input type="checkbox"/> 管理組合指示待ち

点検日時 2017年 6月 20日(火) 10時15分 ~ 10時45分

☐点検詳細は別添をご参照下さい。

☐今回の報告は速報となりますので、詳細は後日提出させていただきます。

☐

]

簡易専用水道検査等作業完了届

(お客様控え)

施設名	バームハイツ西葛西	施設番号	30A-163
検査日時	平成 29年 6月 20日 10:15 ~ 10:45		

検査完了時確認事項

助言内容確認	施錠	スイッチ類	鍵返却	「受検報告書」の代行提出
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

水道法第34条の2第2項に基づく簡易専用水道検査について、上記の通り完了しました。

お客様ご署名

中平 幸夫

なお、簡易専用水道検査結果書は、本検査のご依頼者様へ別途ご提出いたします。

一般財団法人 東京顕微鏡院

検査員氏名 辻 澄夫

TEL 042-525-3186 FAX 042-525-3645

バームハイツ西葛西管理組合

様

登録番号 第 80 号

検査機関名称 一般財団法人 東京顕微鏡院

代表者 山田 匡通

所在地 東京都千代田区九段南四丁目 8 番 3 2 号

電話番号 03 (5210) 6601 代表

簡易専用水道検査結果書

水道法第 34 条の 2 第 2 項の規定に基づく簡易専用水道の管理に係る検査の結果は次の通りです。

検査日 平成 29 年 6 月 20 日

整理番号 (施設コード)

30A-163

検査施設	名称	バームハイツ西葛西		
	所在地	江戸川区西葛西 3-3-13		電話 03-3686-1971
設置者	名称	バームハイツ西葛西管理組合		
管理者	名称	—		
	所在地	—		電話 —
検査立会者	氏名	中平 幸宏		

施設概要

種 類	一般ビル		ビル管理技術者名		— (第 — 号)			
主 用 途	共同住宅				竣工年月	—		
給水方式	高置水槽							
防錆剤使用	—	滅菌装置使用	—	利用者数	人／217世帯		使用水量	— m ³ /月
受水槽	槽 数	2 基	有効容量	90 m ³	高置水槽等	槽 数	2 基	容量 ① 30 m ³ ② — m ³ ③ — m ³
	形 状	告示	設置場所	屋内 B 1 F		設置場所	① 屋上	② — ③ —
	材 質	F R P				材 質	① ステンレス	② — ③ —

1. 施設及びその管理の状態に関する検査

【判定：適＝○、不適＝×、判定なし＝／、該当なし＝—】

検査事項	判定基準	判定			
		受水槽		高置水槽等	
1. 水槽周囲の状態	点検、清掃、修理等に支障のない空間が確保されていること。	1	○	26	○
	清潔であり、ごみ、汚物等が置かれていないこと。	2	○	27	○
	水槽周辺にたまり水、湧水等がないこと。	3	○	28	○
2. 水槽本体の状態	点検、清掃、修理等に支障のない形状であること。	4	○	29	○
	亀裂し、又は漏水している箇所がないこと。	5	○	30	○
	雨水等が入り込む開口部や接合部のすき間がないこと。	6	○	31	○
	水位電極部、揚水管等の接合部が固定され、防水密閉されていること。	7	○	32	○
3. 水槽上部の状態	水槽上部は水たまりができない状態であり、ほこりその他衛生上有害なものが堆積していないこと。	8	○	33	○
	水槽のふたの上部には他の設備機器等が置かれていないこと。	9	○	34	○
	水槽の上床盤の上部には水を汚染するおそれのある設備、機器等が置かれていないこと。	10	○	35	○
4. 水槽内部の状態	汚泥、赤さび等の沈積物、槽内壁又は内部構造物の汚れ、塗装の剥離等が異常に存在しないこと。	11	○	36	○
	掃除が定期的に行われていることが明らかであること。	12	○	37	○
	外壁塗装の劣化等により光が透過する状態になっていないこと。	13	○	38	○
	当該設備以外の配管設備が設置されていないこと。	14	○	39	○
	流入口と流出口が近接していないこと。	15	○	40	○
	水中及び水面に異常な浮遊物質が認められないこと。	16	○	41	○
5. 水槽のマンホールの状態	ふたが防水密閉型のものであって、ほこりその他衛生上有害なものが入らないものであり、点検等を行う者以外の者が容易に開閉できないものであること。	17	○	42	○
	マンホール面は、槽上面から衛生上有効に立ち上がっていること。	18	○	43	○
6. 水槽のオーバーフロー管の状態	管端部からほこりその他衛生上有害なものが入らない状態にあること。	19	○	44	○
	管端部の防虫網が確認でき、正常であること。また、網目の大きさは虫等の侵入を防ぐのに十分なものであること。	20	○	45	○
	管端部と排水管の流入口等とは直接連結されておらず、その間隔は逆流の防止に十分な距離であること。	21	○	46	○

7. 水槽の通気管の状態	管端部からほこりその他衛生上有害なものが入らない状態にあること。	22	○	47	○
	管端部の防虫網が確認でき、正常であること。また、網目の大きさは虫等の侵入を防ぐのに十分なものであること。	23	○	48	○
	通気管として十分な有効断面積を有するものであること。	24	○	49	○
8. 水槽の水抜管の状態	管端部と排水管の流入口等とは直接連結されておらず、その流入口等の間隔は逆流の防止に十分な距離であること。	25	○	50	○
9. 給水管等の状態	当該設備以外の配管設備と直接連結されていないこと。			51	○
	水を汚染するおそれのある設備の中を貫通していないこと。			52	○

2. 給水栓における水質の検査

検査事項	判 定 基 準					判 定	
10. 臭気	異常な臭気が認められないこと。					53	○
11. 味	異常な味が認められないこと。					54	○
12. 色	異常な色が認められないこと。					55	○
13. 色度	5度以下であること。					56	○
14. 濁度	2度以下であること。					57	○
15. 残留塩素	検出されること。					58	○
色度測定値	— mg/L		濁度測定値	— mg/L		残留塩素測定値	0.2 mg/L

末端給水栓における残留塩素が検出されない場合

高置水槽	—	mg/L	受水槽	—	mg/L	直結給水栓	—	mg/L
------	---	------	-----	---	------	-------	---	------

3. 書類の整理等に関する検査

検査事項		判 定 基 準						判 定	
16. 書類の整理及び保存の状況		簡易専用水道の設備の配置及び系統を明らかにした図面、受水槽周囲の構造物の配置を明らかにした平面図及び水槽の掃除の記録その他の帳簿書類の適切な整理及び保存がなされていること。						59	○
記録の名称			記録有無	実施日		実施者（委託会社名等）			
掃除の記録			有	平成28年12月21日		（株）長谷工コミュニティ			
水質検査の記録			有	平成28年12月21日		（株）日本分析			
記録の名称	記録有無	実施頻度	記録の名称	記録有無	実施頻度	記録の名称	記録有無	実施頻度	
給水設備点検	有	1回/1月	飲料水外観検査	有	1回/1週	残留塩素測定	有	1回/1週	

4. その他の検査

検査事項	判定基準	判定			
		受水槽		高置水槽等	
17. その他	逆流防止措置(吐水口空間等が講じられること。	60	○	63	○
	—	61	—	64	—
	—	62	—	65	—

5. 総合判定

A：良好です。継続して管理してください。

6. 助言・特記事項

今回の検査では、特に問題はありませんでした。
今後も飲み水の安全確保のために、水道の衛生管理に努めてください。

検査員氏名	辻 澄夫
-------	------

※本結果書に関するお問い合わせ先 042-525-3186井上

簡易専用水道の管理基準

簡易専用水道の設置者または管理者が行う管理の主な内容は、次の通りです。

項 目	頻 度	摘 要	根 拠
① 貯水槽の清掃	年 1 回	専門の清掃業者に委託する。 ※水道法施行規則第 5 5 条（管理基準）により「水槽の掃除は、1 年以内ごとに 1 回、定期的に行うこと」が定められておりますので、1 年を超えない範囲で計画・実施してください。	水道法施行規則
② 給水設備の点検	月 1 回	・水槽周囲の整理整とん ・水槽の破損・亀裂の有無 ・マンホールの密閉・施錠 ・オーバーフロー管、通気管の防虫網の設置 ・水槽内部の状態 ※地震や大雨などがあつた場合は、速やかに点検してください。また、点検で欠陥を発見したときは、速やかに改善・整備してください。 水質検査機関に依頼して、水道法水質基準に適合しているか確認する。	東京都の指導
③ 水質検査	年 1 回	※水質検査の項目 【一般細菌、大腸菌、有機物、塩化物イオン、pH 値、味、臭気、色度、濁度】 給水栓（蛇口）で水の色、濁り、臭い、味などに注意する。 ※水の状態に異常があつた場合は、管轄の保健所に相談してください。	東京都の指導
④ 飲料水の外観検査	毎日	専用の測定器で、給水栓（蛇口）における残留塩素濃度を測定する。 ※残留塩素が検出されなかったり、急激に低下したときは、水が汚染されている場合がありますので、管轄の保健所に相談してください。	東京都の指導
⑤ 残留塩素の測定	週 1 回		東京都の指導

- ・点検記録、水質検査記録および簡易専用水道検査結果書等は、5 年間保存してください。
- ・①水槽の清掃については、水道法で実施が義務づけられています。（必要な衛生管理）
- ・②～⑤については、上記頻度で実施するように東京都で指導しています。（望ましい管理）